



第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師
 プレイズリード：郭永東牧師

前奏		会衆
頌栄	540	〃
主の祈り		〃
プレイズ	「主のいやし受け取ろう」 「慕い求めます」	会衆
聖書朗読	詩編133 (旧約聖書p975)	司会
祈禱		〃
スペシャル	サミル宣教チーム	〃
賛美	492	会衆
メッセージ	「何という恵み、喜び」	牧師
祈禱		〃
賛美	新生586	会衆
献金祈禱		司会
報告		〃
頌栄	新生672b	会衆
祝禱		牧師

<巻頭言>

「サミル・ゴヤ夏季宣教2021」
 牧師 渡真利彦文

どこの国の教会にも、礎となった指導者たちがおりました。ドイツにおいてはマルチン・ルター、スイスではジョン・ノックスを始め何人かの指導者たちがプロテスタント教会の礎となりました。そして日本の教会にも上村正久師を始め指導者たちがおりました。さらに沖縄の教会にも照屋寛範師を始め指導者たちがおりました。

韓国教会が今日の活況を見るに至った背景には、多くの指導者たちが命がけでその礎を据えたと言えるでしょう。その人々が全員試練を乗り越えたわけではありませんが、日本の植民統治時代、神社参拝の強要に抵抗し、ついに殉教の死を遂げました。またある人々はその試練の中を乗り越えていかれたと聞いています。いずれにしても韓国教会を命がけで指導してきた生き証人に囲まれているのです。

今回韓国のサミル教会から15人の証人が22日から29日、胡屋教会の夏季宣教を共に担います。前回に続きコロナ拡大の中での沖縄宣教となります。残念ながら本人たちは来沖できませんが、オンラインを通して礼拝を共にささげ、そして主に在る交流が祈りの中で進められることを楽しみにしています。主は今ある私たちの状況を通して福音が拡がり深められることを見させてくださいます。

今回のサミル宣教は9年目を迎えますが、大きな祝福となることを、私は信じて疑いません。イエス・キリストに招かれ、その影響力のもとに生きるなら、だれでも地の塩、世の光となるからです。



第二礼拝次第

お休み



ファミリー礼拝

聖書：エゼキエル18：21-32
 メッセージ：「主に立ち帰って、生きよ」